

キリバスを知り、自分(日本)を物語ろう!

② 他の国(人)のことを知ることは、自分のこと(国)をふりかえること。キリバス人「エレアタさん」(架空の人物)の考えや生活の一コマを見聞きして、自分(日本人)はどうか考えて、日本のことを知らないエレアタさんに話すつもりで、隣の人と1分間以内で物語りあってみよう。

キリバス・「エレアタさん」

自分(日本)は?

1 毎日の食事

主食は、最近ではオーストラリアから輸入される米が主で、ほかに、パンの実やタロイモ、ココナッツの果肉は昔から食べられてきた主食だよ。副食は、お父さんが捕ってきたお魚を食べることが多いよ。炊事の燃料はヤシの実の皮。水は村にある井戸の地下水を汲んでいるよ。家族一緒に、大きな台に食べ物を囲んで取り分けて楽しく食べるよ。



1 パンの実:果肉はでん粉質で濃いバナナのような味



2 ごはんも魚も大皿に盛って



3 炊事場の様子



4 食事の風景

2 普段着ている服

男性は、ショートパンツと木綿のシャツがほとんどで、中には上半身裸の人もあるよ。女性は、膝下まであるゆったりとしたスカートにポロシャツが多いよ。そしてみんな裸足! 伝統的には、男女ともにラバラバと呼ぶ腰巻きのようなスカートを着ることもあるよ。



5 上半身裸で椰子ジュース



6 女性の一般的な服装



7 街中の子どもも裸足

3 住んでいる家

私は、長方形の壁のない高床式の家に住んでいるよ。家の材料は、島に生えているパングナスという木をとことん使っていて、幹を柱に、葉っぱを屋根や寝具のマットなどにしているよ。床もヤシの葉の芯を並べたもの。街中では、ブロック壁にトタン屋根の家が多くなってきているみたい。



8 伝統的な北タラワの家



9 部屋の様子



4 学校

義務教育は、6歳から入る小学校で、7年生までだよ。7年生の時に、国の入学試験を受けて、セカンダリー・スクール(中等学校)へ進むんだ。ここで不合格になった子は、もう2年間小学校に通んだけど、9年生の時にもう一度試験があって、先に入った子と同じ学年に編入できるから大丈夫。でも、セカンダリー・スクールに進むのは小学生の約20%程度なんだ。最後には全国で30名前後まで絞られて、修了すると奨学金を受けて、海外の大学に進学していくよ。



10 小学校



11 セカンダリー・スクール



5 気候

私が住んでいるタラワ島では、気温はいつも27~28℃ぐらいで、雨は年間2000mmぐらい降るらしい。いわゆる「熱帯性気候」ってやつで、昼夜の気温の変化も小さいんだ。



6 キリバス人の性格や国民性

みんな陽気で、歌と踊りが大好き。調子に乗ると、何時間でも歌って踊っているよ。

自給自足ができるので、食べ物心配がないし、性格はとてもおおらか。お金に関して執着がなく、「持てる者から、持たざる者へ」という風習が続いていて、村の仲間としっかり助け合って生活しているよ。



12 集会所に集まって踊る

